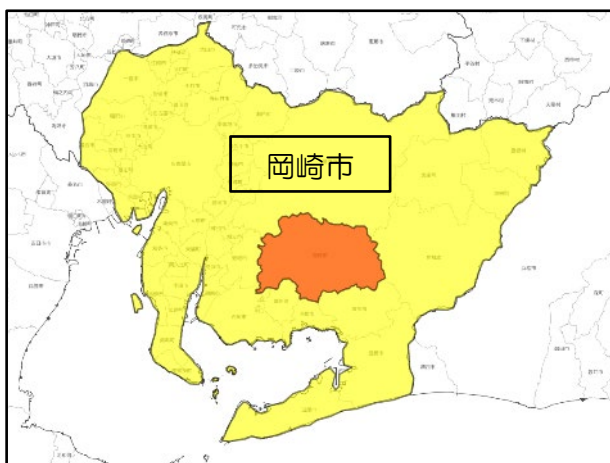


令和7年度孤立集落状況把握・支援訓練 (愛知県岡崎市・内閣府)

実施報告書 (概要版)

愛知県岡崎市について

- 愛知県岡崎市は、愛知県の中央部に位置し、北東部に三河高原の山群が連なり、西南部に広大な西三河平野が開ける。人口は令和8年3月時点で380,930人の中核市である。
- 市域は起伏に富んだ高原台地、河岸段丘及び沖積平野からなり、梅雨期、台風期等には、崖崩れ、河川の氾濫等の災害を被りやすい。
- 徳川家康生誕の地であることや伝統的な八丁味噌で知られる。



主な被害想定

- 「過去地震最大モデル」、「理論上最大想定モデル」ともに最大震度7が想定される。
- 「過去地震最大モデル」では、上水道の断水率は地震直後で90%、停電は約163,000件、固定電話不通は約55,000回線、LPガス機能支障は約6,900世帯と想定される。



訓練概要

- 訓練想定：遠州灘沖でマグニチュード8.4の地震が発生し岡崎市は震度7。
市内全域で停電し、上下水道は断水、携帯電話の電波は不安定。
市内各所で道路損壊、がけ崩れ等が発生し、道路が寸断されている。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和7年7月～11月に3回実施
【孤立集落状況把握・支援訓練】
令和7年12月21日（日）13:00～15:00
【訓練実施後WS】 令和7年12月22日（月）19:00～21:00
- 主催：岡崎市
- アドバイザー：京都府立大学生命環境科学研究科 荒木 裕子准教授
名古屋大学減災連携センター共創社会連携領域 千葉 啓広特任助教
- 参加者数：70名
- 参加機関：宮崎学区防災防犯協会、額田消防団、額田地区女性防災クラブ、
民生委員児童委員、岡崎市
- 訓練項目：住民の安否確認及び情報伝達訓練、避難誘導訓練
- 訓練の特色：「総代」と呼ばれる地域の代表者へ情報集約をする「情報集約と支援ルートのおくみ」を活用した住民避難～安否確認～情報集約までの訓練を中心に実施した。
事前のワークショップを3回開催し、住民自ら情報集約の方法とルートを決め、訓練で実践した。

訓練の成果

【成果】

- 雨天にも関わらず、訓練は概ね予定どおり実施され、円滑な安否確認・情報収集訓練ができた。
- 3回の訓練実施前ワークショップを通して、住民が主体的に安否確認や情報伝達の方法を考え、各地区に合った形の情報収集の仕組みづくりができた。
- 日中、夜間、平日、休日といった時間帯等による安否確認方法の違いについてもワークショップにて議論することができ、様々な状況を見越した検討ができた。
- メールフォームから市へ情報伝達を行う訓練でも、各町総代が周囲の支援を受けつつ無事に報告することができた。

【課題】

- 住民から情報提供を得た後の、行政における情報の取り扱いや孤立集落対応の判断方法等を今後検討していく必要がある。
- より多くの住民の参加が得られるような訓練の設計や周知を検討する必要がある。

7月～11月 訓練実施前ワークショップ

- 7月から11月にかけて3回のワークショップを実施した。
 - 7月のワークショップでは、地域内で食料・燃料・重機などの資源が比較的充実しているといった意見が挙げられた。
 - 9月のワークショップでは、地域の被害状況を集約する仕組み、市への情報伝達手段を検討した。
 - 11月のワークショップでは、被害状況報告の予行練習を通じて、地区ごとに意見交換した。

▼議論に用いたワーク用紙



▼岡崎市による趣旨説明



12月21日(日) 13:00～15:00 孤立集落状況把握・支援訓練

- 各グループで決めた手法での安否確認を行い、住民の安否情報や救助の必要性などの情報を収集した。
- 地域の情報を集約後、各グループで決めた方法で被害状況を市に伝達した。
- 各町総代にて、被害状況をフォームにて報告した。

▼雨の中一時避難場所に集合した住民



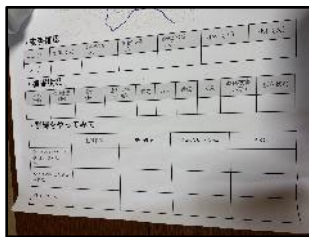
▼名簿をもとに安否確認・被災状況を整理



▼デジタル消防無線を活用して市へ情報伝達



▼情報収集用の模造紙



▼状況をフォームに記入し市へ送信する各町総代



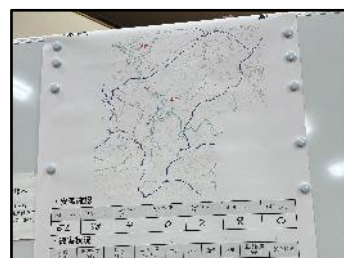
12月22日(月) 19:00～21:00 訓練実施後ワークショップ

- 訓練後、各地区の住民間で感想や明らかになった課題等について、意見交換した。
- 安否確認の際に、組長が各家庭の家族構成を把握していることが心強かったとの意見が挙げられた。

▼地区ごとの発表

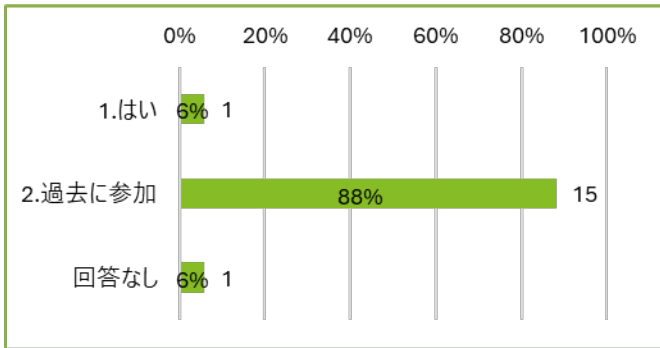


▼各地区の結果

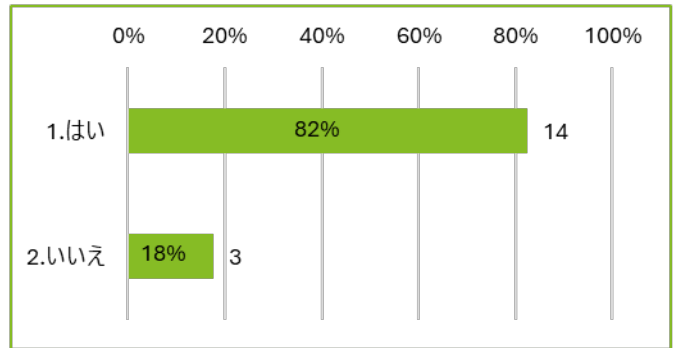


アンケート結果

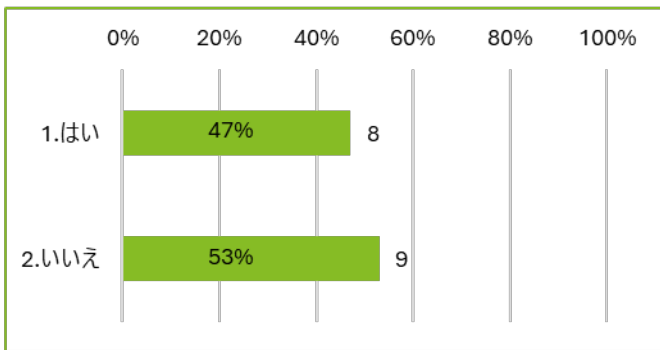
1. 地域の防災訓練に参加したのは初めてですか。



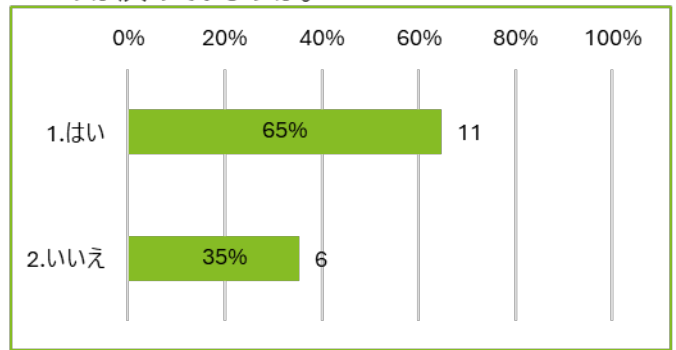
2. 地震が発生した際に、お住まいの地域のどこに、どのような危険があるか知っていますか。



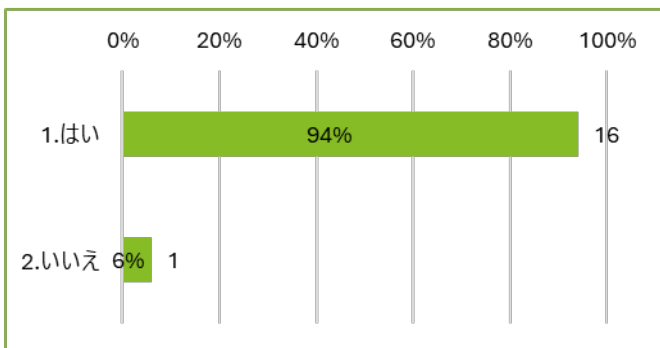
3. 自宅に3日以上以上の備蓄品はありますか。



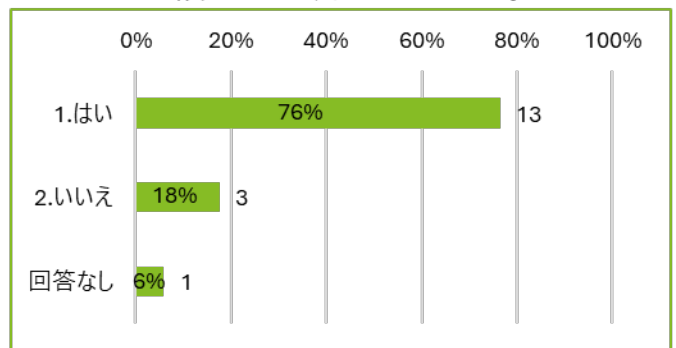
4. 災害時に家族同士で、どのように連絡を取り合うか決めてありますか。



5. 地震などの災害が発生した際に、地区での安否確認をどのように行うか分かりましたか。



6. 地震などの災害が発生し、固定電話や携帯電話が使用できない場合、助けを求めるためにどのような手段があるか、分かりましたか。



7. 今後、地域独自の防災訓練を実施する場合、市町からどのような支援があるとよいですか。

